



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2019年(令和元年)5月15日号 No.1792

目次

■ ロシア政府が一連の「国家目標」を設定	1
■ 統計速報	3
2019年1～4月のロシアのブランド別乗用車販売台数／3	
2019年1～3月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／4	
2019年1～3月の日ロ貿易／5	
■ エトセラ	6
月例報告会「ロシア自動車産業の今後を読み解く鍵」／6	
■ トピックス	7
東洋トランスがモスクワ向け混載サービス開始／7	
シベリア鉄道利用の貨物輸送実証企画を募集／7	
ロシア・サハ共和国で温室野菜栽培事業拡大／7	

ロシア政府が一連の「国家目標」を設定

はじめに

ロシアで2018年5月7日に第4期プーチン政権が発足してから、1年が経過した。この間ロシアでは、プーチン大統領が就任日当日に発令した「5月大統領令」にもとづき、12本の「ナショナルプロジェクト」(およびそれと同等の位置付であるインフラ計画)が策定され、政策が推進されている。

それに関連し先日、2019年5月8日にロシア政府は、「ロシア発展国家目標達成統一計画」と称する文書を採択したので、以下ではその概要を紹介する。

「ロシア発展国家目標達成統一計画」の中身は、必ずしも新しいものではなく、すでに5月大統領令と「ナショナルプロジェクト」に示されていた目標のうち、特に重要なものを抽出したような内容になっている。具体的には、以下の9項目が「国家目標」として設定された。

1. ロシア連邦の人口数の安定的な自然増の確保。
2. 平均寿命を78歳まで(2030年には80歳まで)高めること。
3. 市民の実質所得の安定的な伸びと、年金支給水準の伸びをインフレ率以上にすることを確保すること。
4. ロシア連邦における貧困率を半分に削減すること。
5. 年間500万家族以上の住宅条件を改善すること。
6. ロシア連邦の技術発展の加速、技術的イノベーションを実施している企業・組織の数を総数の50%にまで拡大すること。